

# 技術革新と 技術史を学ぶこと

前回のシンポテーマ「技術史を学ぶことと今後の技術革新とは」を継続し、わが国における技術革新の流れや今後の方向について考えるきっかけにしたいと思います。加えて技術の次世代への継承の観点から技術の今日的課題を含め、技術史をみる眼を深めていきたいと思ひます。

主催：中部産業遺産研究会

後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・産業考古学会  
日本産業技術史学会・(一社)日本機械学会・(一社)中部産業連盟  
(公財)中部圏社会経済研究所・(一社)中部経済連合会  
(公社)日本技術士会中部本部

**開催日：2014年3月23日(日)午後1時** (受付開始12:00)

**会場：名城大学 名駅サテライト多目的室** (地図裏面参照)

13:00～

講演

「技術革新と適正技術

－戦後の鉄鋼技術革新と3・11を経験しての技術のあり方から考える－」

講師 黒田光太郎

名城大学大学院教授 中部産業遺産研究会

「20世紀の日本の化学技術－21世紀を展望する－」

講師 亀山 哲也

産業技術総合研究所 名誉リサーチャー

日本化学会化学遺産調査委員長

14:55～

質疑応答 会場からの意見交換

16:15 閉会

16:15～17:00 中部産業遺産研究会の定例研究会(希望者はお参加ください)

懇親会 17:30～ 会場：シンポジウム会場付近

■シンポジウム開催案内ホームページ <http://www15.plala.or.jp/hidekih/sympo32.htm>

■中部産業遺産研究会ホームページ <http://csih.sakura.ne.jp/>

裏面にシンポジウムの会場案内・申込方法・問い合わせ先があります。

「技術革新と技術史を学ぶこと」

1. 会場案内

名城大学 名駅サテライト 多目的室  
(名古屋駅前桜通ビル13階)

交通：名古屋下車 桜通を東へ約100m

駐車場：会場の駐車場はありません



4. 申込方法

下記の様式をはがきに貼り付け郵送するか、ホームページからお申し込みください。

なお、参加券は発行しませんので、定員超過などによるお断りがなければ、当日受付までお越しください。

「日本の技術史をみる眼」第3 2回申込書	
(フリガナ)	
氏名	
区分	一般・中部産業遺産研究会員・学生
連絡先 電話	— ( ) —
E-mail	( )
所属(団体名・勤務先など) (学生の場合は学校名、学年を記入してください)	
懇親会参加	する ・ しない

2. 参加費

シンポジウム：一般1,000円(資料集代を含む)  
(中部産業遺産研究会員：500円)  
(学生で資料を必要としない場合は無料)  
懇親会：5,000円(予定)

\*参加費はできるだけ事前(3月17日頃迄)に振込をお願いします。

\*振込先

【郵便振替】

口座番号：00880-2-83831

口座名称：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」  
(個人での振込は申込者のお名前をお願いします)

3. 定員

シンポジウム：最大99名(会場の定員)  
懇親会：30名

(定員になり次第締め切らせていただきます)

\*申込書に記載の個人情報は、当シンポジウムの運営及び緊急の連絡のみ使用します。

\*勤務先等で複数お申し込みの場合は別紙も可、その場合、全員の参加者名をご記入ください。

5. 申込先

【郵送】〒470-0213

愛知県みよし市打越町九蔵釜93 加藤真司

【ホームページでの申込】

<http://www15.plala.or.jp/hidekih/sympo32.htm>

ここから参加申し込みフォームを開いてください

6. 問い合わせ

シンポジウム実行委員会 山田貢

E-mail [yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp](mailto:yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp)

FAX (052) 795-4297

シンポジウムの「講演報告資料集」のみご希望の方は実行委員まで予約ください  
シンポジウム当日の講演内容などを掲載した「第31回講演報告資料集」 2013年3月23日発行

(1冊実費1,000円+郵送送料手数料350円) <予定>

下記の事項を シンポジウム実行委員会までEメールでご連絡ください

- ①氏名 ②希望冊数  
③受取方法 (シンポジウム会場で受取、研究会総会で受取、郵送希望：送付先 )  
(郵送の送料は受取人で負担願います)

支払方法 3月23日までに、現金で実行委員に支払うか、参加費振込先の郵便振替口座に振込